

黒田庄まちづくり協議会より ＜地域自治協議会連絡会の開催＞

去る7月30日(木)にマナビータプラザに於いて、地域自治協議会(津万・比延・黒田庄地区)の会長・事務局長及び市役所担当課で連絡会を開催しました。その内容をお知らせします。

1 連絡会の趣旨説明(藤井比延地区自治協議会会長)

地域自治協議会が3地区で設立され、これまで地区ごとにそれぞれの地域特性を生かしたまちづくりを進めてきたが、今般の新型コロナウイルス感染症の影響による事業等の対応や、今後の自治協議会の方向性などについて相互に情報共有し、連携を取りながら進めていくことも必要かと感じている。今回は自由な意見交換を通じてそれぞれの自治協議会の活動や方向性を知り、連携の足掛かりになればと考えている。

2 各協議会からの報告

〔比延地区自治協議会〕

今年度比延地区では新型コロナウイルスの影響により、例年実施しているものや新たなものを含め、交流事業等はほとんどできていない。今後についても例年のように実施するのは難しいと考えている。

〔黒田庄まちづくり協議会〕

黒田庄地区においても行事についてはこれまでほとんど何もできていない。夏まつりも中止。今年度重点を置く取組としては、JR黒田庄駅のあつまっ亭のリニューアルを考えている。コミュニティカフェとしての機能強化とあわせ黒っ娘おばんざいのサテライトとしても活用し、活動を充実させていければと考えている。また、地区内の観光資源の掘り起こしを行い、観光協会にも相談のうえ案内看板設置を進めていけたらと考えている。あわせて白山登山道整備も進め、観光・レクリエーションゾーンの充実を図っていききたい。

〔津万地区自治協議会〕

津万地区においては昨年度組織の立ち上げと新たな活動拠点となる地区内の古民家の改修を同時に行った。今年度であれば新型コロナウイルスの影響もあり実現できなかったと思う。今年一番進めなければと考えていることは“津万地区自治協議会の存在感”を住民に知らせることと考えている。ただ、新型コロナウイルスの影響で事業が全くできていない状況。そこで、新型コロナウイルスにより集会の機会を持ちにくい状況であるが、会長である私が責任を持つので無理のない範囲で事業を進めてもらうよう自治協議会の中で方針を示している。

先日、新型コロナウイルスの影響下でもできることを皆で考えるための会議を行った。そこでの協議をもとに、あつまれ部会(若い世代の部会)で、絵本の読み聞かせをYouTubeで配信し、地区内の皆さんに案内することにした。また、会議等のオンライン化を進めていくことに先駆け、まずオンライン会議のやり方の講習を行うことを企画している。困りごとを少しずつ解消していくため、イベントの実施だけではなく、住民の拠り所となるよう“毎日動くまちづくり”を目指して進めている。

その後、意見交換を行い、他の自治協議会の活動や方向性を知ることができました。今後、黒田庄地区のまちづくり活動に生かしていきます。



編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
令和2年8月15日発行



黒田庄地区の人口
(R2.8.1現在)
男 3,191
女 3,414
計 6,605
世帯数 2,640
人口前月比 (-4)

(2)

★大伏集落の活動

大伏集落では、毎年10月の兵主神社秋祭り宵宮の日に「いきいきふれあい広場」と、年の初めに「とんど」を開催しています。

【いきいきふれあい広場】

秋祭り宵宮の日に、太鼓保存会の人たちが太鼓と共に大歳神社から集落を練り歩いた後、公会堂広場にて、天下泰平・五穀豊穰を願って宮入をします。



その後、集落の子どもからお年寄りまで全員で食事やビンゴゲームや餅投げをして楽しいひとときを過ごし交流を深めています。



今年は新型コロナウイルスの影響により開催できるかどうかわかりませんが、開催できることを願っています。

【とんど】

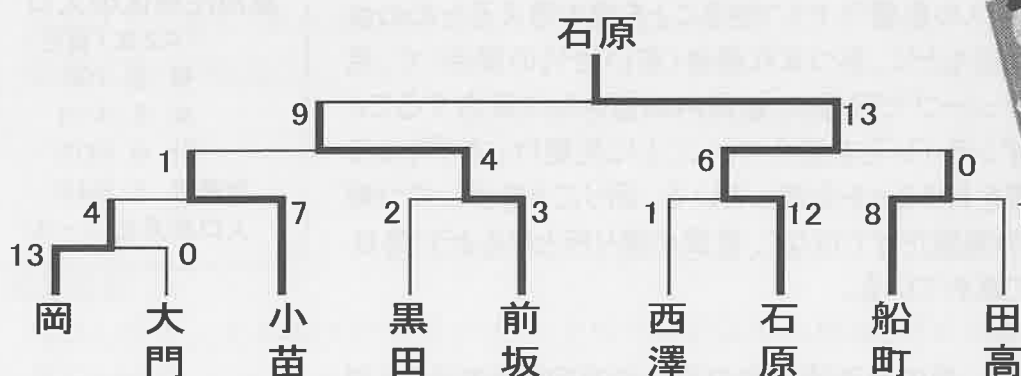
1月の第2日曜日に公会堂広場にて開催しています。最初にぜんざいやお酒をふるまってから、その年の年男年女の人たちがたいまつで左義長に点火します。「無病息災」と書いた習字を燃やし、字が上手になるようお願いをします。



★黒田庄地区親善野球大会結果のお知らせ <黒田庄スポーツ振興会>

黒田庄地区親善野球大会を7月26日(日)に黒田庄グラウンドと黒田庄中学校で開催し、9集落が参加して予選を行い、8月2日(日)に予選を勝ち上がった4集落が黒田庄ふれあいスタジアムで準決勝を行いました。準決勝の第1試合は小苗対前坂で前坂が勝ち、第2試合は石原対船町で石原が勝ちました。決勝戦は前坂対石原が行い、延長戦の末、石原チームが優勝しました。

各集落の試合結果は、下記のとおりです。





虹の会工房

就労継続支援B型&生活介護&グループホーム

長かった梅雨が明け夏本番ですね！豪雨により各地で大きな被害もありました。新型コロナウイルス感染者も日を追うごとに増加しています。感染拡大防止のために当事業所でもマスクの着用をお願いしています。利用者さんの安全を第一に外出支援も制限させていただいたりしています。そんな中でも、明るく前向きに作業や活動を頑張っています。

暑くなりますが、体調管理に気を付けてこの時期を一緒に乗り越えていきたいと思っています。

(文責 坂田)



🎁 ラッピングがかわいい
お菓子セット500円

ギフト予約受付中!!



※1,500〜

＜ 焼き菓子セット ＞
・クッキー ・ドーナツ ・パイ
・フィナンシェ ・カップケーキ など

〒674-0001 兵庫県西脇市黒田庄町前坂2140
TEL:0795-28-5128
FAX:0795-28-5141

工房特製のお菓子は
いかがですか？

ご注文
お待ちしております(^^)

<黒田庄こども園ニュース>

<カモメール！心を届ける！！>

7月末に、播州織のショール等で有名なタマキニイメ社長がスポンサーとして、3歳児以上の子どもたちに、カモメールのハガキをプレゼントしてくださいました。

当日は、タマキ社長ほか、西脇中本町郵便局員や黒田庄郵便局からも来園いただきました。

このハガキは、実家のおじいちゃんやおばあちゃん、暫く出会っていない親戚の方などに、夏のおたよりを届けるために、各クラスで園児が言葉やデザインをして、ポストに投かんします。

昔懐かしいポストもお借りして、8月7日(金)まで園に設置し、投かん体験もしました。どんなハガキか、園児それぞれに違いはありますが「心が届いたらなあ！」と思います。

職員には、播州織のマスクもいただきました。タマキ社長、本当にありがとうございました。



<タマキ社長と！>



<ポストへの投かん>

<特別養護老人ホームからお礼届く！！>

7月初旬に、園児たちがデザインした「うちわ」を老人ホーム等に寄贈いたしました。

先日、「向陽苑」の高齢者の方々から、「うちわ」のお礼のおたよりをいただきました。ご紹介いたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年の交流ができず、こんな形にはなりましたが、感染症が終息すれば、また交流したいものです。いつまでも、お元気で！！



<お礼のおたより>

(4)

★第1回推進委員会開催 <黒田庄地区人権のまちづくり協議会>

去る7月21日(火)に黒っこプラザ2階大ホールにおいて、第1回推進委員会を開催し、本年度の事業計画・役割分担等について協議した後、黒田庄町在住のナイド・アシュウィンさんを講師にお招きしてお話をお聞きしました。

【研修】

演 題：「外国人から見た家族・暮らし・子育て」

語り手：ナイド・アシュウィンさん

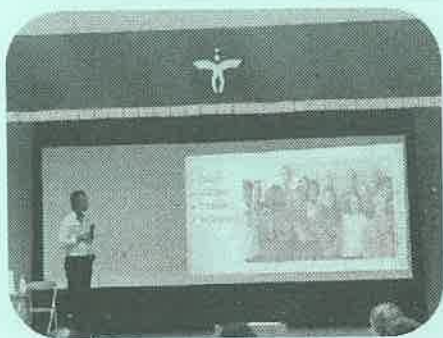
(黒田庄町在住)

聞き手：上井千里さん

(桜丘小学校 教頭)



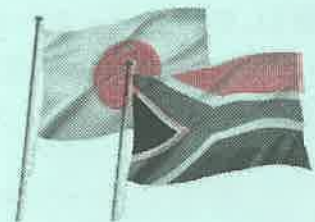
【研修中の様子】



【研修を終えての感想等】

- ・多文化について良く分かりました。人権教育を進めていきたい。
- ・地域に住んでおられる外国人の方を身近に感じる事ができた。
- ・外国の方の思いを聞いたのは良かった。問題意識を共有できれば、もっと良かったと思います。
- ・南アフリカの生活やナイドさんの生活について、英語でのお話ではあったが、少し理解することが出来ました。
- ・アシュウィンさんのような方が、黒田庄で積極的に出ていただくことで、多文化情勢がよく理解できる。
- ・意見交換の場があれば良かった。
- ・外国人から見て、日本人の良いところ「与える」の精神
- ・国旗に意味があること。

などの意見がたくさんありました。



編集後記

梅雨も明け、この時期大伏集落では、お盆前の共同墓地の掃除とその周辺の草刈りをしました。墓石も綺麗になり、ご先祖さまもさぞ喜んでおられると思います。

T.F